

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,695人
世帯数
3,180世帯
令和元年9月現在

雨ニモマケズ

第12回 五常夏祭り 大盛況!!



去る7月27日(土)、年に一度のお楽しみ、五常夏祭りが開催されました。当日は朝からあいにくの雨。中止を心配される方も多かったようですが、実は雨天時の会場レイアウトも、こっそり用意されているのです。



ここで魔法の粉をふりかけて…
みたらし団子製造工程の秘密

過去の夏祭りは、晴天に恵まれ続けた為、校庭を使わない雨バージョンは第2回以来、実に10年ぶり。初めて経験する人も多く、混乱が予想されたものの、存外スムーズに準備は進みました。



涼しいせいか売れ行き好調だった
やきとりブース

なにしろ、いちばんの力仕事、テント張りから解放された男性諸氏は天国気分。
ずらりと並ぶ提灯に明かりを入れる電気担当の方々も、配線距離の大幅短縮により、かなり体力を温存できた様子。
調理担当の女性陣は、体育館横の階段を上り下りする必要があるため、口を揃えて、「楽やった〜」

来年からは、ずっと雨バージョンでやりたい、という声も出ていますが、果たしてどうなることやら。



ふだん見慣れた渡り廊下が
お祭り会場に

午後4時半の開場時刻には、西門前に列をなしていた子どもたちが、どっと入場。金券売場に押し寄せます。
ビニールシート持参で、体育館に腰を落ち着ける、準備の良いご家族も。夏祭りマスターの称号を授与したいくらいです。
そんな中、体育館で、蚊に刺される被害が続出したことは、反省点のひとつ。蚊取り線香を用意しておくべきでした。



おなじみの
フラダンス

もうひとつ、各ブースの場所が
分かりにくかったとも、各方面
から、「指摘を受けました。
いつもと違うバージョンの場
合は、会場案内板が必要ですね。



来賓諸氏を前に
上野会長のご挨拶



♪ 晴れた空に種を蒔こう♪
パプリカ ジャンプ!



次は何ができるかな?
バルーンアート



夏祭りといえば
かき氷



一番人気は、やっぱり光るヤツ
おもちゃ販売ブース

ともあれ、体育館に嬌声渦巻く、
一喜一憂の大抽選会をもって、
今年も無事閉幕を迎えることが
出来ました。
みんなで作る手作りの祭
『五常夏祭り』を、来年も一緒に、
盛り上げて行きましょう!



あなたには、負けないわ!
スーパーボールすくい

末筆ながら、伏見市長はじめ
御来賓の皆様、今年には体育館の
舞台から祭を盛り上げて下さっ
た、フラハラウ・オ・カウイラニ
(フラダンス)、枚方メチャハピー
踊り隊の皆様、パプリカダンスで
子どもたちを熱狂(?)させた
PTA正副会長様、そしてご協力
頂いた実行委員ならびにポラン
ティアの皆様方へ、深く感謝致し
ます。



怒りをコントロールすることができません(3)

怒るときのNGワード やってはいけない怒り方 ①



と許せる出来事に対しても、激しく怒ってしまうのです。

親しい人に対しては「これくらいなら許せる範囲」を拡大し、「まあ、いいか」として考えられるようにしましょう。そのうえで、自分の感情や、相手に望むことなどを、落ちついて上手に伝えることが肝心です。

◎怒るときのNGワード

怒るときにも言うてはいけない言葉があります。

(1)「絶対」、「いつも」、「必ず」

この言葉は「100%」を示していることを示す強い表現です。しかし、実際に100%している場合はほとんどなく、多くの場合、正確に表現せずに、強い表現を使っているのです。言われた相手は「そんなことはない」と反論したいでしょう。

また、「絶対」、「いつも」、「必ず」を使うときには「自分の言っている」とは正しい」と無意識に

思っています。この感情が相手に伝わり、不快感を増幅させるのです。「絶対」、「いつも」、「必ず」を使いたいと思ったときには、ほかに正確な表現がないかなど、置き換える言葉や表現を探しましょう。

(2)「ちゃんと聞け」、「しっかりやれ」など

これらの程度を表す言葉もあいまいであることから、相手を納得させることができません。程度言葉は人によって基準が異なるからです。「この場合も、自分が相手に望んでいることを、誰にでも理解できる表現で伝えるようにしましょう。」

(3)「相手を責めるような表現」

相手を責める言葉は人間関係を壊しがちです。「なんでできないの」と相手の能力を責めたり、「君の責任」と直接相手を責めると、責められた側は不快になるだけです。そもそも責任のありかを追求しても問題が解決し、状況が良くなることはありません。普段の会話はもちろん、とりわけ怒りの感情を持ったときには相手を責める言葉を使わないようにしましょう。

しょう。もし、相手を責めたい感情を持ったときには、怒りの感情をやり過ぎる秒間の技を使って、落ち着いて話すようにしましょう。

(4)「前にも○○」などの過去言葉

この言葉は「何回同じことをするのか」など過去を引き合いに出し、自分は正しいと思い、相手を責めている表現です。言われた相手は「なぜ、今更そんなことを持ち出すのか」と不信感や不快感を大きくするでしょう。過去を引き合いに出しても、今、問題となっている状況を変えたり、解決できるわけではありません。

(5)「その時々で言うことを変える」

使つてはいけない言葉ではありませんが、その時々で言うことを変えないことも大切です。特に目下の人や子どもに対して、その場で違うことを言うと、相手を混乱させ、不信感を招きます。自分がどういう気持ちなのか、そして、本当は相手に「何をしたいのか」を、具体的に伝えるのがポイントです。(以下次号)

◎親しい人にキツイ!

怒りの感情は相手が自分の期待に沿わない行動や言動をしたときに沸き上がります。相手の行動などが自分の「こうあるべき」範囲(「べき」の範囲)の外へでた、すなわち自分の期待が裏切られたことから、怒っているのです。期待が大きいと「べき」の範囲が小さくなりがちです。

同じ行動であるにもかかわらず、伴侶や子どもなど特に親しい人に対し、強くイライラを感じ、激しく怒ってしまうことがあります。これは、親しい人に対する自分の期待が大きいため「べき」の範囲が小さくなっていることから、他の人なら「まあ、いいか!」

五常校区コミュニティ協議会

専門部会の紹介2

枚方市防犯協議会

五常支部の活動について

支部長 野々村 亘

枚方市防犯協議会は、犯罪のない地域社会を目指して、住民の防犯意識を高め、地域ぐるみの防犯活動を推進するため、啓発活動、防犯灯設置、青少年補導活動を行っています。五常支部も、傘下の組織として、地域の防犯活動を推進するため、積極的に自治会並びに枚方市や枚方警察署等の防犯関係機関との連携を図り、『安全で住み良い町づくり』の実現を目指して、活動を行っています。

活動の主体は、各自治会から専任された防犯委員です。令和元年度は、85名で構成されています。

4月に年間の『防犯活動事業計画』を発表し、それに基づき活動を推進しています。具体的には、毎月1回、防犯委員から選出され

た理事の方々と五常支部役員で『定例防犯センター(理事)会議』を行い、防犯に関する情報交換はかかっています。



枚方警察署講師陣

年間では、毎年1回、『防犯委員研修会』を行っています。今年度は、7月14日(日)に、枚方警察署からも講師の方をお招きし、防犯委員、自治会長他50名を超える参加者で開催しました。枚方警察署からは、『特殊詐欺』が急増中という状況をうけ、具体的事例の講義をいただきました。

また「防犯委員の活動」について五常支部役員から、気楽に気長に無理をせず地域を見守ってほしいと要請しました。

次に、年2回、夏季と歳末に防犯パトロールを行っています。

『自分たちの町は、自分たちで守ろう』というスローガンのもと、夜間パトロールを実施しています。今年度は、夏季防犯パトロールを8月10日(土)・11日(日)に行いました。



パトロール機材一式

最後になります。防犯活動は、地域の皆様の意識で、さらに効果が高まります。日常生活で、『オカシイ!?ヘンだ!?』と思つたら『防犯委員』、『自治会長』や『枚方警察署』(845-11234)まで、連絡をお願いします。

第11回「五常文化祭」

- 日時：2019年10月27日(日) 10:00~16:00
- 場所：五常小学校 体育館

絵画、写真、俳句、短歌、書、手工芸、生け花等々、地域の皆様の力作に加え、迫力の大音楽会、さらに、喫茶コーナー「五常カフェ」も、開設予定。ぜひ、お誘い合せの上、お運びください！

編集後記

今年の夏祭り特集は、写真多めに編集しました。いかがでしょうか? 「怒りのコントロール」は、いよいよ次号で完結。お楽しみに。

広報委員会